

地中埋設型

融雪用
温水槽

融太君

【土地の有効活用】

雪は冷水に浸けて融かします



優れた8つの特徴

機能性

蓄熱水に浸けると、氷も雪も融かす

経済性

床暖ボイラー利用で、熱源機不要

安全性

丈夫な転落防止蓋で安全対策

利便性

車路に埋設、防火・防災槽にも転用

耐久性

鉄筋コンクリート製で腐食なし

環境性

灯油漏れ・音公害・CO2排出なし

社会性

いつでも処理でき、空間確保

お買得

アイデア豊富な自社ブランド生産



匠建コーポレーション
Takken Corporation

融雪槽の「仕組み」

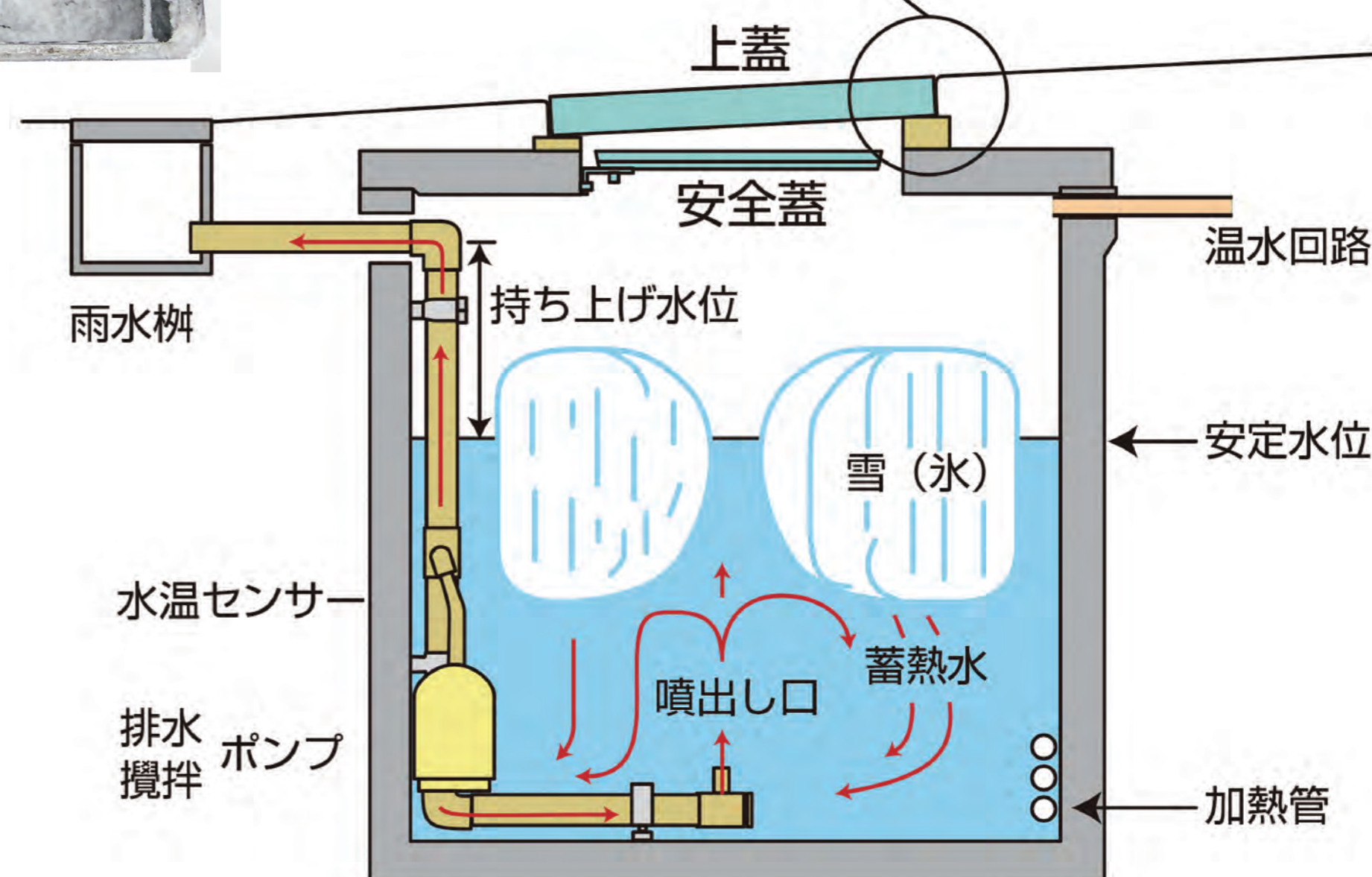
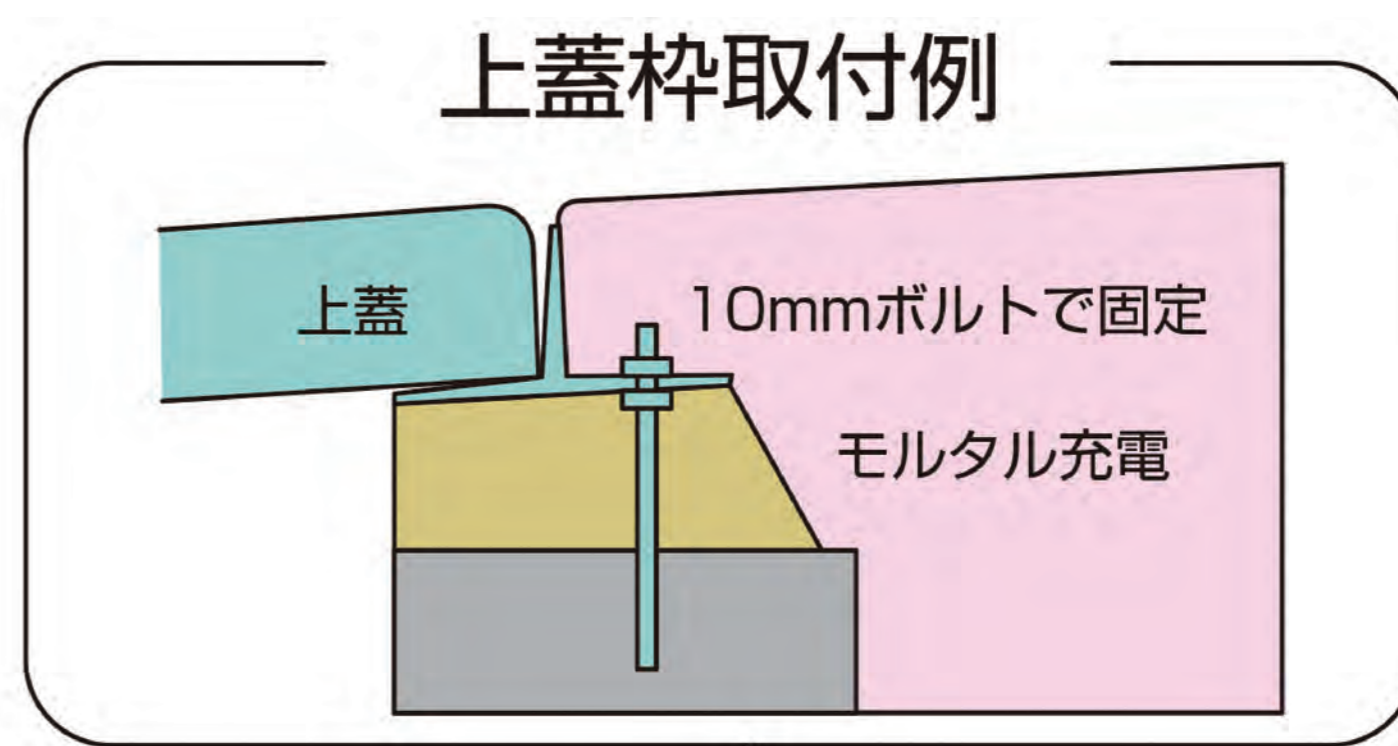
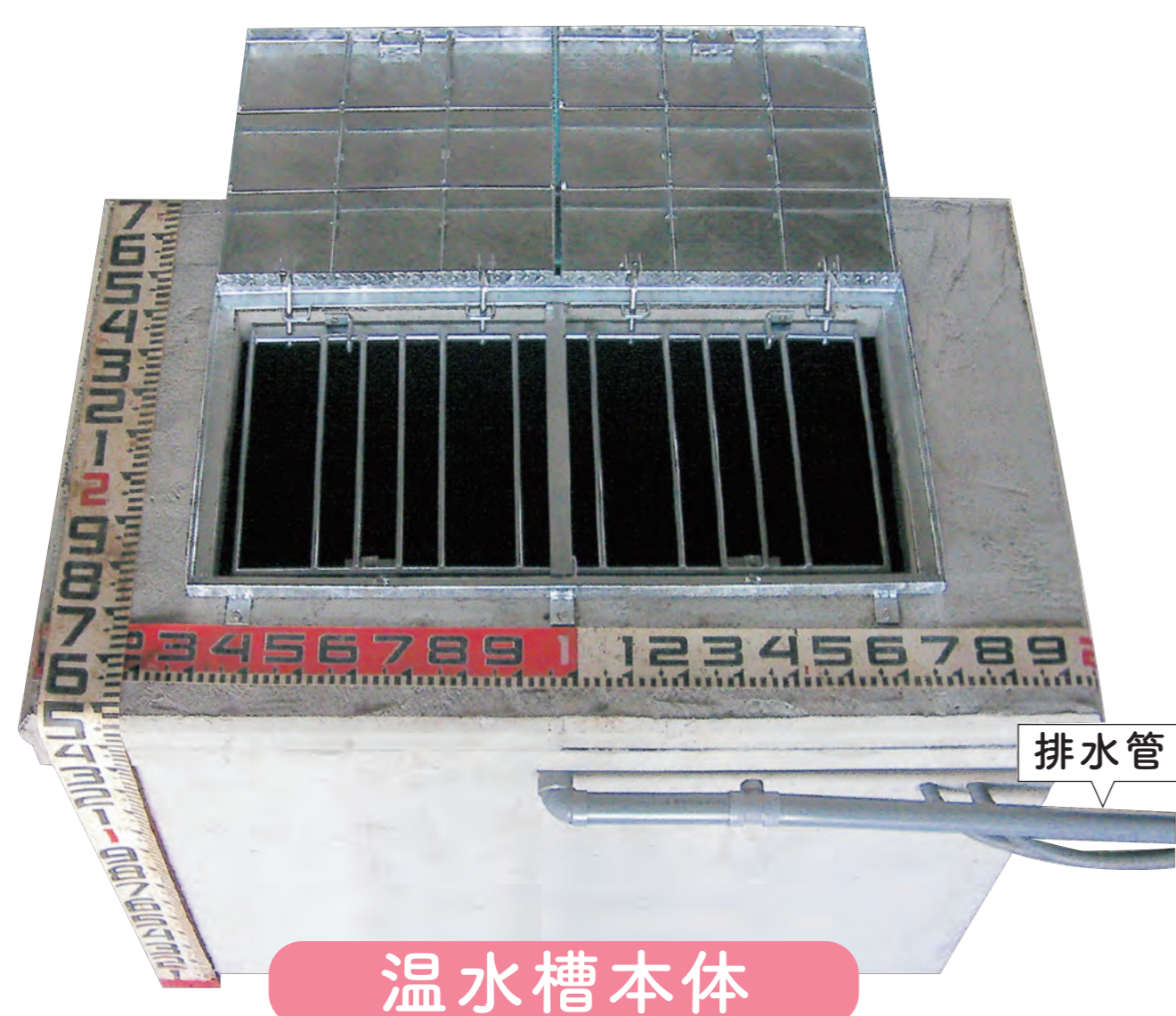
省エネでクリーンに融かす大型融雪槽で、快適な冬を。



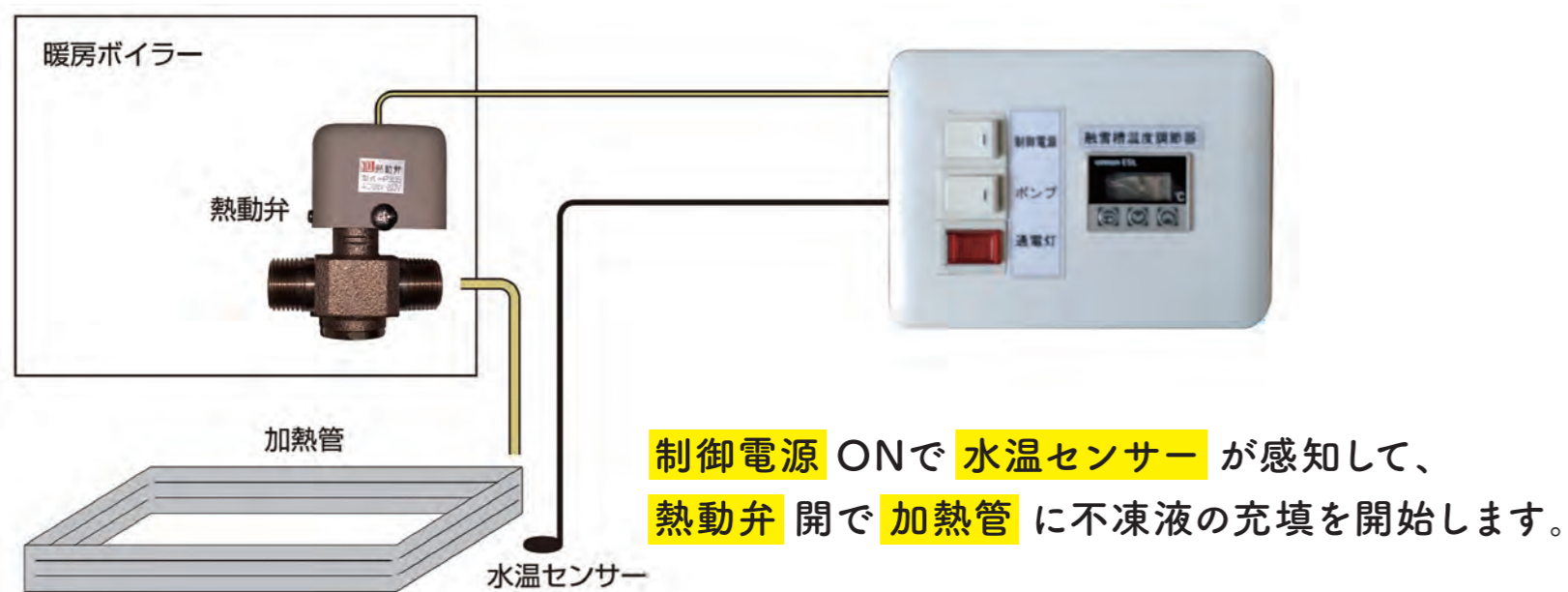
地中に鉄筋コンクリート製の水槽を設け、1,300リットルの湯槽に除雪の堅い置き雪を投入すると、いつでも効率良く融け、増えた水は排水・攪拌ポンプで持ち上げ、下水に放流します。温度の下がった水は床暖房ボイラーで暖め温水に変えて貯湯する、「蓄熱・湯浸けリアルタイム融雪方式」で、単純機構で音の出ない融雪槽です。

なにが蓄熱？

安定水位はポンプ出力と噴出し口の抵抗(口径)により持ち上げ水位が定まり、雪の投入により融けて発生した分が溢れて放流される、つまり長時間ポンプが作動しても、持ち上げ水位を超えた分だけ排水され、貯湯量は減らないシステムです。



加熱システム



内寸	縦108cm×横182cm×深120cm
外寸	125cm×198cm×142cm
容積	2.5 ^m
蓄熱水	1.3 ^m
槽重量	2.0トン
材質	鉄筋コンクリート
上蓋	70cm×140cm 縞板鋼板溶融亜鉛メッキ
排水システム	排水・攪拌ポンプ自然放流、口出し管VU50φ
据付状況方法	地中埋設方法
水中ポンプ	AC100V-210W-70リットル/分